

導入済の医療機関さまの声

小児科医 M クリニック | 0 先生

「harmoワクチンケア」は操作が簡単で、メインの機能である接種間隔のチェックはきちんと確認してもらっているという安心感があります。



また、複数回接種するワクチンの場合に前回の接種が他院の場合は、接種部位が特に参考になると感じています。

小児科医ドクリニック | K先生

「harmoワクチンケア」は予防接種の間隔チェックの他に接種部位を登録できる機能があり、毎回違う場所に打つことができるので、



便利に利用させてもらっています。「harmoワクチンケア」がもっと普及すれば、当院の記録だけでなくどこの病院で何を打ったかを把握することができるのでたくさんの患者さんが使ってくれればいいなと思いました!

小児科医Gクリニック 🕍 先生

当院では診察の際に母子手帳と「harmoワクチンケア」を用いて接種間隔のダブルチェックを行っていますが、システムを使って問題なければ正しいんだなという安心感があります。このシステムはワクチン接種の間違いをなくすという意味でとてもいい仕組みだと思います。これからも「harmoワクチンケア」の進化を楽しみにしています!





ダウンロードは こちら

→ 導入をご検討の医療機関さま

多くの医療機関でご利用いただき、さまざまな *現場の声 ″を 反映したより良いサービスとするため、基本利用料は無料で提供 しております。



企業・自治体等の方はHPの問い合わせフォームよりご連絡ください。





a harmo:

harmo株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S





https://www.harmo.biz/vaccine-care/



予防接種管理サービス





医療機関アプリ



安心でつながる。これからの予防接種アプリ



ユーザーアプリ

接種ルールの自動チェック機能で 接種間違いを防ぐ

最新の接種ルールに 対応しているから安心して使える

ワクチンのバーコードを読みとるだけで 正確な接種記録を簡単に登録

接種記録を簡単に 電子カルテへ転送可能

アプリ連携で

医療機関と患者さまをつなぎ、 予防接種を一緒に管理

ワクチンの回収情報等を タイムリーに受け取れる

医療機関、訪問接種など場所を 選ばずに、スマホ・タブレット どちらでもご利用可能です







医療機関アプリの詳細

IPV-Hib)

医療機関アプリ

ユーザーアプリの詳細

打ち忘れ防止のお知らせ

接種間隔が長く空く場合や無料 接種機関が限られているもの等 について、適切なタイミングで 通知によるフォローを行います。

ワクチン固有の情報をお知らせ

ワクチンの安全性に関する問題が 公表された場合、ロット番号などの ワクチン固有情報に合わせて正確性の 高い情報をタイムリーにお届けします。

打ち忘れ防止の通知や接種時期の表示により、 スケジュール管理をサポート

接種間違い防止機能で

より安心・安全に接種を受けられる

※「接種間違い防止機能」は医療機関で使用するアプリの機能であり、 harmoワクチンケア導入医療機関で接種を受けた場合に限ります。

接種した記録はアプリに 自動反映され、簡単に管理できる

接種したワクチンの安全性に 関するお知らせ等、通知による アフターフォローを受けられる

接種した記録は家族に共有できる

マイナポータル連携で 過去の接種記録を簡単取得





医療機関へのアプリ導入イメージ

harmoワクチンケアは、医療機関で使用する「医療機関アプリ」と 一般の方が使用する「ユーザーアプリ」の2つのアプリを提供しており、 これらが連携し機能することで「**医療機関アプリ**」では接種間違いをチェックでき、 「ユーザーアプリ」では正確な接種記録を常に手元で確認できます。

予防接種を「する側」にも「受ける側」にも、安心感をお届けします。





接種記録のリアルタイム連携

医療機関アプリで登録された接種記録が 自動反映され、お帰りの際には、患者さまの お手元でも当日の接種記録を確認できます。





チェックイン

患者さまは来院後、医療機関の受付に 設置してある専用二次元コードを 読み取り、個人情報や過去の接種履歴 などを医療機関へ提示することに 同意します。

医療機関アプリ



接種間違い防止機能の (理論チェック)

チェックインされた患者さまの情報をもとに 当日時点で接種可能なワクチンを確認します。







6 帰宅後

17 ワクチン準備

医療機関アプリ



接種記録の転送機能

二次元コード化された患者さまの接種 記録を電子カルテに接続したバーコード リーダーで読み取ると、簡単に接種記録を 電子カルテへ転送できます。

電子カルテデータ転送





医療機関アプリ



接種情報の登録

ワクチン接種後、接種部位などを選択し 登録ボタンを押します。

接種情報は、クラウドサーバーに登録 されます。





ワクチン箱に表示されているGS1コードをアプリのカメラで読み取り、 ワクチンの情報(ロット番号や有効年月日など)を自動取得します。 その際、理論チェックに加え、ワクチンの有効年月日が切れていないか 現物チェックを行い、接種可否を判定します。







母子健康領域に置ける取組と実績

ワクチンケアは、予防接種DX事業を推進することで、医療機関や自治体の予防接種業務の デジタル化や接種間違いなどの社会課題への対応に貢献してまいります。



ワクチンケアを使用している医療機関で接種間違いを未然に防止

予防接種事務デジタル化事業

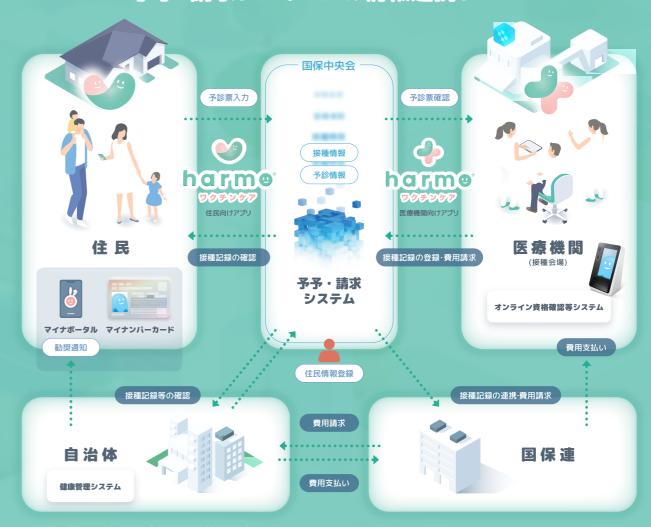
厚生労働省は2026年(令和8年)6月より、全国の自治体・医療機関に対して 「予防接種事務のデジタル化」を本格的に推進する方針を発表しました。

紙ベースで行われてきた予防接種事務をデジタル化し、予診票情報や接種情報を一元管理する ことで、自治体・医療機関・住民間の情報共有をスムーズにするという取り組みです。 この取り組みにより、自治体・医療機関の事務作業の負担軽減、情報の正確性向上、国民の 利便性向上を目指しています。

医療機関が、予防接種事務のデジタル化に対応するには、国が定めた仕様に準拠した医療機関 アプリの利用が必要となり、私たちは本アプリの開発に携わっています。

厚生労働省が推進する「予防接種事務デジタル化」の先行事業に参画し、全国5自治体 (例:都城市、小千谷市など)の医療機関にアプリを導入し、先行実証を実施しております。 2025年8月8日開催の「予防接種事務デジタル化に係る自治体説明会」において、医療機関 向け民間アプリの提供事業者として当社が厚生労働省の公式資料にて紹介されました。

予予・請求システム*の情報連携フロー



引用元:厚生労働省-予防接種事務のデジタル化について 令和6年度第1回予防接種に関する自治体説明会(令和6年6月21日)

05 母子健康領域における取組みと実績 予防接種事務デジタル化事業 06